

## 平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

# 「鹿児島市立松元中学校」の実践紹介

### 目指す信頼される学校像

- 1 一人一人が夢・志をもち生き生きとしている学校
- 2 教師が使命感に燃え、生徒が主体的に取り組んでいる学校
- 3 教育環境が整備され、明るく、美しく、清潔な学校
- 4 保護者や地域社会に支えられた信頼される学校

### 年間活動計画

- ◆第1回（H30.7.17）
  - ・学校経営説明
  - ・委員会設置目的及び内容説明
  - ・不祥事防止強化月間取組
- ◆第2回（H30.12.19）
  - ・服務指導取組状況
- ◆第3回（H31.2.21）
  - ・反省と次年度に向けて



### 構成メンバー (9人)

- ・民生委員 ・松元交番所長
- ・まちづくり協議会長（2人）
- ・P T A会長 ・校長 ・教頭
- ・教務主任 ・養護教諭

### 委員からの意見・要望

- ・生徒の自転車事故が多いので、小学校との連携を。
- ・不登校生が増加傾向にあるので、家庭との連携を密にし、少なくしてほしい。
- ・不祥事防止の取組は大切だが、一部の教職員が起こしたことで、全ての教職員がそうだと思われるのか。松元中からは不祥事を起こさないでほしい。
- ・指導ができなくても、部活動を担当してくれる先生に感謝。

### 信頼される学校づくりを目指した取組

#### 本校職員の目標 地域・保護者・生徒からの信頼を裏切らないために、我が松元中から一人の違反者も出しません

##### <不祥事防止強化月間の取組>

- ・7月20日服務規律に関する職員研修実施
- ・鹿児島市教育委員会発行の「不祥事根絶をめざして」を活用し、速度違反と報告懈怠に伴う事例研修を行った。学年部で話し合い、事例から学ぶことを発表した。そして、自覚を促すために各自に下のようなカードを記入させ、いつも見えるところに掲示させた。



「高い倫理感を常にもち、いかなる場面においても重い責任があることを自覚して行動する」「遅い車にイライラしない」等

##### <出張マイホーキ隊の取組>

3年前から生徒会の呼びかけで、校内だけでなく、日頃お世話になっている薩摩松元駅や上伊集院駅の清掃を始めた。

今年は7月27日に行い、約120人の生徒がボランティア活動に参加し、気持ちよい汗を流した。通りすがりの方や地域の方々から感謝の言葉をいただき、生徒は達成感を味わっていた。



地域貢献する姿をさらに発信していきたい。

### 今後の課題

- 不祥事防止のため、常に緊張感をもって職務に当たる意識の継続
- さらに地域に貢献できる生徒の育成

## 平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

# 「姶良市立蒲生中学校」の実践紹介

### 目指す信頼される学校像

生徒と教師が敬愛の情で結ばれ、笑顔・感動・自信に満ちあふれ信頼される学校  
キャッチフレーズ『日々自己更新～昨日の自分を超えていこう！』

#### 年間活動計画

- 第1回会議  
平成30年7月2日（月）  
14時から16時
- 第2回会議  
平成31年2月20日（水）  
10時から12時



#### 構成メンバー

校長、教頭、  
蒲生中PTA副会長  
姶良市商工会副会長  
漆地区消防団部長  
西浦地区コミュニティ協議会長  
主任児童委員

#### 委員からの意見・要望

- 教職員同士のまとまりを大切にして欲しい。思いを吐露する機会とか悩みや考え方を共有する場も大切だ。
- 不祥事根絶に関する標語などを定期的に提示して、教職員の意識の向上を図つてみてはどうか。
- 教育活動の充実を図り、生徒のよりよい成長に努めることが、教職員の所属感を高めるのではないか。

### 信頼される学校づくりを目指した取組

#### 本校職員の目標

信頼される教職員・信頼される学校 ー 信用失墜行為 0

#### 1 モラルの向上

- (1) 全職員が服務に関する「私の決意」を表明し、服務指導綴りに貼付
- (2) 服務に関する新聞記事に感想欄を付けて配布し、記事内容に関する所感の記載
- (3) 教職員の用いる言葉の持つ功罪について、時宜を踏まえた指導と研修  
(職朝等を活用して隨時)

#### 2 より開かれた学校づくり

- (1) 外部講師を招聘しての校内研修の充実
  - ・ 教職員のメンタルヘルスに関すること  
(久留一郎 鹿児島大学名誉教授)
  - ・ 人権同和教育に関すること  
(川畠真英 人権同和教育課指導主事)
  - ・ 学校保健に関すること  
(外山澄子 かごしま食育シニアアドバイザー)
- (2) 労働安全衛生員会への校医の招聘（12月）



人権同和教育にかかる研修

#### 3 働きやすい環境づくり

- (1) 部活動の週2日以上の休養日の設定
  - ・ 原則、毎週水曜日をノー残業デー、ノーパート活動デーに設定
- (2) 管理職の教職員との日常的なコミュニケーションの推進

#### 今後の課題

- 不祥事根絶に対する教職員の高い意識の維持
- 時宜を捉えた継続的な指導
- 信頼される学校づくり委員会の充実と教職員の倫理観を高めるための工夫

## 平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

# 「錦江町立田代中学校」の実践紹介

### 目指す信頼される学校像

- 責任を果たす学校
- 個性の花咲く学校
- 開かれた学校
- 郷土への理解を深め、愛情を培う学校

#### 年間活動計画 年3回

##### 第1回(6月8日)

学校経営方針、委員会設置の趣旨、服務年間指導計画、意見交換等

##### 第2回(12月14日)

取組報告、中間評価と改善策、意見交換等

##### 第3回(2月20日)

取組報告、本年度評価と次年度改善策、意見交換等

#### 構成メンバー 計7人

校長、教頭、主任児童委員、町議会議員、学童指導員、PTA会長、町農業委員会事務局長



#### 委員からの意見・要望

- 少人数ながら、様々な分野で成果を出しておられ、今後も教師、生徒と共に励んでほしい。
- 学校と生徒と地域が一体化していく頼もしい。
- 子どもたちや職員が頑張りすぎて、過重負担にならないよう配慮してほしい。
- 常に職員の危機意識を高め、対応を模索し、特色ある教育活動を推進されるよう切望する。

### 信頼される学校づくりを目指した取組

#### 本校職員の目標（スローガン）

～油断の結果は倍返し！ 結果は家庭 同僚 教え子へ～

##### 1 個人ファイルの活用

- ・ 研修記録用紙の工夫(管理職コメント)
- ・ 新聞記事等の日常的な提示
- ・ 標語の作成(毎月、出勤簿の前に提示)
- ・ 通勤路の注意マップ作成



文化の秋  
劇はそれども  
「激」するな！



##### 3 コミュニケーションの活性化

- ・ サイコロトーキング  
職員を3つのグループに分け、5つの題の中に6項目の質問を作り、グループで一人ずつサイコロをふって、出た題について意見や考えを述べ合う。

###### ※ 職員の感想から

こういう風にしないとなかなか、全ての人と話す機会も持てないと思いました。話してみて、今まで気づかなかった人の面白さに気づいたのは新鮮でした。

##### 4 小規模校の強みを生かしたいじめ・不登校の防止

- ・ 全員で取り組む活動を通して生徒の思いやりや共生の心を育て、いじめ・不登校を未然防止
- ・ 毎月25日に「心の教育の日」を設定し、「いじめアンケート」を実施
- ・ 週に1回、生徒指導・特別支援教育部会と学年部会を開き、対応等を検討

##### 5 業務改善への取組

- ・ 毎週水曜日に定時退学日とノーブル活動日を設定

#### 今後の課題

- ボトムアップ方式の研修の工夫と実施(特に業務改善に関して)
- 信頼される学校づくりのための職員の意識の向上と維持

## 平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

# 「喜界町立喜界中学校」の実践紹介

### 目指す信頼される学校像

- 「夢・志」を育む学校 ○ 確かな学力を育てる学校
- 豊かな心とたくましい体を育てる学校 ○ 明るいあいさつと花いっぱいの学校

### 年間活動計画

【第1回】7月12日

委員会設置説明、学校経営説明、服務規律の年間指導計画

【第2回】11月6日

大島地区モデル校としての取組紹介

【第3回】2月26日

取組の評価、課題、及び次年度の方向性

### 構成メンバー（12名）

【内部委員】校長、教頭

【外部委員】学校評議員5名（前教育長、地女連会長、3集落代表）、PTA3名（会長、副会長2名）、喜界幹部派出所所長1名、高等学校長1名 計10名



### 委員からの意見・要望

- 生徒のあいさつが良いのは、先生方とのラポートがとれているからではないか。
- 生徒の地域でのあいさつなどが素晴らしい。
- 先生方と他団体との交流がもっとあってもいいのではないか。
- 生徒の内面を磨くために、家庭も地域も努力するので、教職員にも努力してもらいたい。
- 家庭学習を充実させるための見届けをお願いしたい。

### 信頼される学校づくりを目指した取組

#### 本校職員の目標 <信頼に応える教育 喜界中> <初心忘るべからず 喜界中>

##### 【「信頼される教職員・学校を目指して」の活用】

- ポケット版の表紙に好きな言葉を書かせたり、読む機会を作ったりしている。
- 平成25年3月版のセルフチェックを活用し、自らの言動を振り返らせている。

##### 【「服務規律の厳正確保ファイル」の活用】

- 指導計画に基づいた内容と、臨時の服務指導を行い、指導に用いた資料は個人ファイルに綴じさせるとともに記録簿に記入させ、毎回校長が記入状況を確認している。
- 毎週発行の「校長室だより」に、服務指導内容を隨時取り入れ啓発している。

##### 【体験的な服務指導】

- 奄美警察署喜界幹部派出所の田島所長による講話と演習の実施  
教職員の取り調べの実際については、取り調べる側と調べられる側に分かれて模擬体験させた。  
その後、所長から事例を数点紹介し、犯罪になる可能性のある行為についてグループごとに検討させた。所長が紹介した事例は全て犯罪になり得ることだった。特に「授業中私語をしていた生徒にチヨークを投げた。(当たらなかった。)」という事案も犯罪になり得ることで「犯罪として起訴され、刑が確定した場合は失職する」との指導に、全職員の顔が硬直し、更に全職員の気持ちが引き締められたと感じた。
- 全職員が主体的に参加する服務指導  
事前に全職員から募集した標語、キャッチフレーズ等から、ワークショップ型の演習方式により本校の本年度の標語を決定するグループ別討議を行った。その結果、右の二つを選定し掲示した。



### 今後の課題

- 教職員としての自覚の向上を促すとともに、同僚性を強化していく必要がある。
- 教職員が地域社会に参画する機会を増やしたり、深めたりしていく必要がある。